

マニラの賃貸事情

<https://reform-nisso.co.jp/> ニッソウ賃貸事情研究

フィリピンの首都マニラ、その中でもさらに安全で、日本人が安心して住める場所として、マニラの東南に位置するマカティ市に限ってのこととして記述する。

フィリピンのコンドミニウムは区分所有で、部屋ごとにオーナーが異なる。

オーナーにもよるが一般的に、ベッド、エアコン、冷蔵庫、ダイニングテーブルやソファなどの家具や家電品が備わっていることがほとんど。

このため入居者にとっては、住み始めるときにかかる余分な費用が抑えられるという利点がある。

コンドミニウムないのパブリックスペースには、無料で利用できるプール、サウナ、ジム、テニスコートなどが備わっていることが多く、THEセレクトな暮らしができる。

ロビーには受付があり24時間有人管理でセキュリティ的にも安心である。

またコンドミニウムには非常用電源が確保されていることが多く、よく起こる停電時にも安心である。

間取りは、近年 小ぶりものが主流になるつつあるが、2LDK 70~80㎡程度で家賃は月額約 80,000 円。

またワンルームタイプだと月額 40,000 円程度。

家賃は1年前払いであり、その他2か月分の手付金(敷金のようなもの=退去時返る)がある。

さらに、フィリピンでは富裕層や中間層に限らず、低所得者層でもメイドを雇っていることが一般的である。

富裕層や外国人の家庭では、さらに運転手を雇っていることがほとんど。

フィリピンの生活ではメイドは欠かせない存在であるようだ。

参考までに、これらコンドミニアムを購入しようとするに 200 万円～数千万円。

例えば高層コンドミニアムならワンルームタイプで 1,000 万円ほど。

またフィリピンでは土地は購入できないため建物を購入するという形になる。

とにかく、フィリピンには若者が多い、そして人口はどんどん増え 既に1億人を超えた。

筆者の個人的な意見ではあるが、東南アジアで不動産投資をするならマニラだ。

反面、マニラから車で少し走ると、貧民地区もあり、今回記述したことはマニラの賃貸事情の一部であることを念押ししておく。